



土岐市

議会だより

発行:土岐市議会 編集:議会だより編集委員会 TEL(0572)54-1111(内線351) FAX(0572)54-8971 E-mail:gikai@city.toki.lg.jp

平成25年8月15日 第43号



6月議会おりべネットワークで中継

目次

●第3回定例会報告 2

●一般質問 3~7

●編集後記 8

平成25年第3回定例会報告

第3回定例会には、平成25年度補正予算関係1件、条例関係3件、人事案件2件、その他案件2件の合計8件が市長から上程され、請願2件を提案しました。このうち人事案件2件の「土岐市功労章の授与について」は、中小企業振興功労により旭日双光章を受章されました加藤半一郎さん（土岐津町）、更生保護功労により瑞宝双光章を受章されました金津保さん（泉町）への授与を2日目に可決しました。また今定例会に上程されました予算関係、条例関係、その他の案件、請願の8件は、各常任委員会に付託され、6月17日、18日に審査し、本会議において、請願については不採択、その他は、原案のとおり可決しました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、8ページのとおりです。

委員会報告

第2常任委員会

第2常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係1件、条例関係1件、請願1件でありました。

☆平成25年度土岐市一般会計補正予算（第一号）所管部分

質疑 企業立地対策事業の事業所設置奨励金について、企業は奨励金をどのように受け取るのか。

答弁 この奨励金については、今年度の予算でいうと平成24年度に納められた固定資産税等に対し平成25年度に交付金として支給するものである。

質疑 この奨励金に対する国の補助はどうなっているのか。

答弁 これは市独自の企業誘致のための施策であり、全て単費である。

☆土岐市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例について

質疑 太陽光発電や風力発電での道路の占用ということであるが、どのような場所を想定しているのか。

答弁 道路の法面や歩道の通行に支障のない場所が想定される。

☆TPPへの参加に反対する請願について

意見 これからは、農業を保護すると

いうより、農業の改革といった部分が何より必要になり、地域経済の活性化という面からも、製造業だけでなく農業についても積極的に活用する必要がある。

意見 美濃焼の振興についても業界から、今後海外進出も視野に、力を入れていきたいとのことであり、不採択としたい。

第1常任委員会

第1常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係1件、条例関係2件、その他の案件2件、請願1件でありました。

☆平成25年度土岐市一般会計補正予算（第一号）所管部分

質疑 コミュニティ助成事業助成金を財団法人自治総合センターから受け入れるとあったがその内容は。

答弁 宝くじの社会貢献広報事業として要綱の定めにより、コミュニティ活動の備品整備、安全な地域づくり、公共性のまちづくり等々の活動に対する支援を受けるものである。

☆土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑 世帯割額を減額する改正が恒久化されることについて。

答弁 恒久化されるのは、基準額を算

定する計算方法であり、6年目からの3年間の金額について、2分の1であったものを4分の3にする世帯割額の減額は、恒久化ではない。

☆中学校パソコン教室用のパソコン等の取得について

質疑 落札率がかなり高いが。

答弁 ネットワークの設定関係で、既設のサーバー内データの移行、新たな動作確認等の人件費を伴う業務が多くあり、その人件費関係は値引率が非常に低く、その結果である。



☆治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）が制定されるよう政府に対する意見書の採択を求める請願について

意見 治安維持法だけが戦時下の犠牲者ではない。原爆や空襲で被害にあった人も犠牲者であり、治安維持法だけが突出する、この請願には賛成できない。

意見 治安維持法国家賠償法が制定されれば、従軍慰安婦等の賠償にも波及し、ひいては再び戦争をしないところに帰結する、この請願には賛成する。



鈴木 正義

◆地場産業振興と観光客が市内の施設を訪ねる動線づくりについて

◎「ぎふ清流国体による地域への費用対効果への評価を教えてください。」

◎民間のコンサルタント会社にて算出された結果をもとにご報告致します。陶磁器販売、ミナモマグカップ、国体公式グッズの売り上げを始め、周辺の飲食店、コンビニ等も盛況であつたと考えております。

◎「美濃焼関連施設（セラトピア土岐、伝統産業雲館、道の駅「志野・織部」など）のあり方についてどのようにお考えですか。」

◎大規模な改修計画は今のところありませんが、魅力ある企画や誘客力のあるイベント開催、それぞれの施設の魅力を高めていく方向に尽力していこうと考えております。今年度は、どんぶり会館が15周年、伝統産業会館ではスマートインター開通と入場料無料化、美濃焼伝統工芸品まつり（10月開催）第30回の記念の年ということもあり、新たな企画を準備しております。また、ご提案頂い

たセラトピア土岐を中心に市内の施設への案内を行うことについては今後研究させて頂きます。

◎「土岐市観光振興計画を進めて頂くと同時に、日常的に陶器の販売を行うPRセンターの設置の検討を行うって頂くことは可能でしょうか。」

◎プラズマリサーチパーク内に観光情報拠点的な施設の設置を25年度から31年度の間整備していこうと観光振興計画にも記載して計画を行っております。

◆はじめ、不登校への対策について

◎「現在の市内の小・中学校において深刻ないじめやいじめが原因で不登校になっている等問題がありますか。また、問題への対応について現状を教えてください。」

◎本市は大変多くの予算をつけていただいております、非常に手厚いサポート体制を整え、専門家も交えながら様々なニーズに幾重にもサポートができるようにしております。

◎「育成推進委員の方々とタイアップを行い、地域で子どもを守り、地域で育て、地域に還元できる大人へ成長させる環境づくりを行ってはいかでしょうか。」

◎生涯学習社会の中で、豊かな情操を育み、子どもだけではなくみんなが育つ社会づくりを目指していきたいと考えております。

《第3回定例会一般質問》



小関 祥子

◆男女共同参画社会の推進について

◎「一九九九年六月に施行された男女共同参画社会基本法に基づき、十年前の二〇〇四年三月に「土岐市男女共同参画プラン」が策定され、今年が最終年となります。そこで、その評価と次の計画策定は、どのようになっているのでしょうか。」

◎「現行のプランの達成状況や成果などに関する評価を踏まえ、「土岐市男女共同参画懇話会」の提言をいただきながら、市民意識調査などによりつかんでいる市民の考えを反映させつつ、新しい時代に沿ったわかりやすいプランの策定に努める。」

◆無駄・危険なリニア新幹線の凍結、撤回について

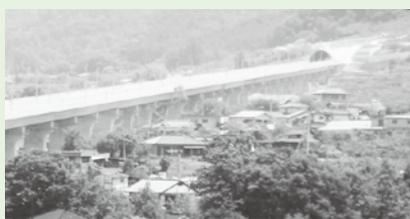
◎「リニア新幹線は、電磁石の反発力と吸引力で車体を浮かせたまま浮上走行する「超電導磁気浮上式」で、従来の新幹線の3倍以上の電力を使用します。そのルートは、南アルプスの直下を突っ切り、80%以上がトンネルで、地下40m以深の大深度地

下を走行しますが、運転手は乗車せず遠隔操縦での運行になります。本体建設だけでも9兆3000億円と、完済までには26年間かかります。国内のリニア建設は、海外への高速鉄道システムを輸出するための戦略の一つとも言われています。

◎「そこで土岐市として、シデゴブシやウラン鉱床、電磁場による健康への影響など市民の心配、乗車需要見込みに狂いが生じて、JR東海が経営破たんすると公的資金を投入するようなことになったら、建設を中止せよと言っていただけなのか。」

◎「今年の秋以降に予定されている「環境影響評価準備書」の公告の段階で、具体的なルート及び駅の位置が公表されることになっています。」

◎「県は、リニアを活用した地域づくりを検討するため、「リニア中央新幹線活用戦略研究会」を立ち上げ、今年度を目途にリニア活用戦略をまとめる予定で、研究会では、費用負担を含めた役割分担を意識して検討を進めている。」



▲リニア新幹線試験走行



加藤 辰亥

問乳幼児健康相談の内容は。

答乳幼児健康相談は毎月2回、子どもの身長、体重などの発育状況や子育てにおける心配事相談を保健師、栄養士、歯科衛生士が相談に応じているもの。相談の内容は、発育・発達に関する相談、また食事などの栄養に関する相談が主なものとなっている。不安を抱えてみえる時は、その不安を聞き、親身になって相談に応じている。相談だけでは解決できない案件は家庭訪問の実施や東濃保健所、子育て支援センターなど関係機関と連携をとりながらお母さんや家族の方の不安を取り除くようにしている。

問小中学校の児童生徒の体力運動能力調査は3種類あるが、その内容・結果・課題・公開は。

答8種目あり、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ。抽出校調査結果に共通するものとしては学年、男女等により若干の差はあるが走力や柔軟

性においては全国と同じレベルか、あるいはそれを上回っている。下回っているのは投力、跳力。

全国値を下回るものを中心に要因を分析し、保健主事会で交流し、抽出校の実態に合わせた課題を明確化して対応している。

公表については「あすの子どもを育てるために」という刊行物で公表している。関係者に情報を十分提供して共有してもらい、指導に生かしていただいている。ホームページなどの公開は考えていない。

問平成22年度に市民の運動率の調査が行われ、その結果に基づいた23年度と24年度の施策と効果は。25年度実施の概要は。

答運動実施率の向上のために1つめとして市民体育館での軽スポーツの無料開放事業を行っている。肥田体育館と西部体育館を中心として週1回、スポーツ推進委員が中心となって進めてもらっている。2つめは運動実施率の低い方が関心を持っているウォーキング。これはノルディックウォーキング教室を実施した。地区の公民館と連携し、公民館の講座として開催をしてきた。特に肥田町では、体育協会が独自にノルディックウォーキングのコースを設定して普及に努めている。25年度調査は9月頃に2000人規模を予定している。

《第3回定例会一般質問》



小栗 恒雄

◆土岐市の自殺防止対策について

問多くの自殺は、死を選ばざるを得ないところまで追い詰められ、生きる権利という究極の基本的な権利が、社会の構造と要因に侵害された、強いられた死だとも言えます。市民を守るため実効的な対応をすることが緊急な行政の課題だと考えます。

答全国の10万人当たりの自殺死亡率は二・三・四人であります。土岐市内の自殺死亡率は、全国と比べ多いのか少ないのかを教えてください。

答土岐市は全国平均を上回る二・六・六人で少し増えております。

問土岐市の場合、明らかに一割以上多いのです。土岐市で特有な原因があるのかを分析しておられますか。

答分析してないというところが土岐市の今の現状でございます。分析する材料等、そういうものがございません。分析することが不可能ではないかというふうに思っているところがございます。

問平成22年3月定例会においても、同じ趣旨の質問をさせていただいて

おり、市の自殺防止策の具体的な取り組みについて答弁がありました。それらの答弁をよく見ますと、土岐市の取り組みの殆どが県の事業ばかりです。これで土岐市は自殺対策に本気に取り組んでいると言えるのでしょうか。強いられた死から市民を守るため、市民のことが一番わかっている、一番身近な土岐市行政が、市民に密着し、市独自の自殺防止策を、実効的な対策を講ずることが、緊急の土岐市政の課題であります。県に丸投げすることなく、市独自の視点から自殺防止に取り組む必要があるのか、ご答弁をお願いします。

答土岐市の自殺防止の取り組みで、県の事業等について、それを活用させていただいているところですが、平成24年度には、市民が簡単にメンタルヘルスチェックできる「こころの体温計」を導入し、昨年8月から運用しております。また、本年度は9月10日から16日までの自殺防止週間に合わせ、広報やリーフレットの配布などを行い、啓発を図る予定でございます。それと、市ではさまざまな悩み事を解決する手助けとなるように、市民相談、また弁護士による無料法律相談、家庭児童相談などの各種相談窓口を設けておりますので、これらも自殺防止には役立っているものと思っております。



後藤 久男

◆土岐市立総合病院の経営形態の在り方について

◎松原一仁新病院長の所信表明

◎今年4月1日から、従来の病診連携室を発展させた地域医療連携室を開設。診療所や病院、介護施設、行政機関との連携を強化して、地域全体で疾病予防、医療、介護が隙間無く行われることを目指す。

さらに、医療情報企画室を新設し、医療請求の改善、各種の業務プロセスの見直しにより収入の増加、支出の削減を図っていく。両室とも専従看護師を含む5人体制。地域医療連携室では、検査や診療などの前方連携や、入院患者の自宅復帰のための広報連携を、これまで以上に積極的に取り組む。医療情報企画室は、医療の質向上と経営改善を目的としている。

◎累積赤字について

◎昨年3月末現在の累積赤字は、33億8261万5762円。累積赤字のともになる単年度収支は、2006年度から4年間、約4億円前後

の赤字が続いていた。しかし2007年度の約4億6千万をピークに減少してきており、2011年度は約1億2千7百万円となり、累積赤字の増加額は縮小してきた。引き続き経営状況の改善に努めて行きたい。

◎一般会計からの繰入金について

◎平成20年度、7億9229万525円。21年度、8億8963万3495円。22年度、9億3373万199円。23年度9億9708万1千円。24年度、11億1845万8760円で合計5年間で47億3119万5101円である。

◎変わる公立病院経営（京セラ式病院管理手法）の導入について

◎公立の甲賀病院を始めとして松下記念病院などに導入され、収益部門だけの原価計算の対象とされない診療科以外のサポート部門も原価計算の対象となることよって、職員全員の経営への参加意識が高まって、黒字化に貢献した大変魅力的なシステムであると考えますが、今年度から医療情報企画室を新設し、DPC（ダイアグノス・プロシージャ・コンピネーション）請求のデータから出来高請求との差額分析、患者数、在院日数、医療資源に分析するシステムを導入したばかりで、経費面の負担増になるので導入は困難である。

《第3回定例会一般質問》



高井由美子

◆避難場所の見直しについて

◎通学路の安全確保について

◎期日前投票の宣誓書について

◎土岐市地域防災計画の全面見直しの中で避難場所の見直しの進捗状況をお伺いします。

◎災害図上訓練を実施しながら、各自治体と協議して見直す予定が見直しには至っていない。

◎今年度、避難場所の見直しなどは、より実効性の高い図上訓練を実施し住民のご意見を踏まえ、地域防災計画の改定に取り組みたい。

◎シエイクアウト訓練、それぞれその時にいる場所地震から身を守るための自主参加型一斉防災訓練を実施してみるお考えをお伺いします。

◎将来的には、手法とかを検証した上で実施を考えた。

◎通学路の安全対策の現状は。

◎教育委員会及び学校が対策を講ずるべき場14カ所のうち10ヶ所は昨年度対策済み。2ヶ所は6月中旬に完了し2ヶ所は今年度中に対応する。市道に係る部分は22ヶ所。4ヶ所

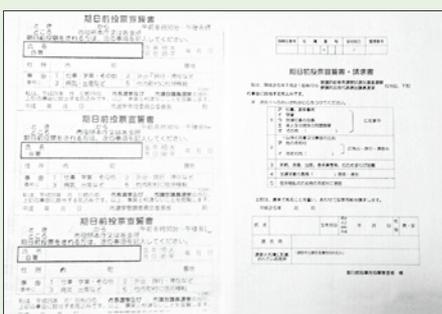
は24年度中に対策を講じ済み。残りの18ヶ所も今年度に予算計上されている。

◎近隣市のように、通学路の危険箇所を市のホームページに掲載して公表するお考えをお伺いします。

◎教育委員会としては、ホームページ上で市民全体に公表はしない。

◎期日前投票の際に提出する宣誓書について、県外の他市では入場券の裏面に宣誓書を印刷していたり、県内山県市では入場券に連記し郵便さ夫されお考えを伺います。

◎県の行政情報センターを利用して17市のうち、はがき方式の入場券作成市は15市で宣誓書の印刷は全て実施せず。当市では、入場券を送後宣誓書の用紙を市のHPからダウンロードできる。



▲期日前投票宣誓書



塚本 俊一

◆消防行政について

問 女性消防士を採用してはどうか。

答 他市の状況を踏まえながら研究していきたいと思っています。

問 外国人・聴覚障害者のためのSOS「指さしカード」を救急業務等に導入している経緯と実績について

答 平成5年ごろから救急車に搭載し対応してきております。

平成24年度の実績はございません。

◆市内のカーブミラーについて

問 市内のカーブミラーを掌握され把握されているか。また管理者別に本数を把握されているか。

答 交通安全設置台帳というものを市で備えて、管理をしております。平成25年5月末現在で1370基であります。

問 自然災害や台風・突風・交通事故などによるカーブミラーによる事故の補償について。

答 土岐市が管理するカーブミラーによる事故は全部補償対象になります。

問 東濃地区交通安全協会土岐支部支部長の土本勇夫さんから要望書。土岐市内に設置してある当交通安全協会所有のカーブミラーの移管をお願いしたいとの件について。

答 協会の物件として、確認できたのは139基であります。市道に設置してあるカーブミラーを対象に管理をいたします。設置場所が個人地である場合は、土地所有者の承諾書を取っていただくことにより維持管理をしていきます。条件を満たしていただければ、順次移管の手続きに入らせていただきます。

◆風疹予防ワクチンについて

問 土岐市は、県の風疹予防ワクチン接種費用の補助を受け、土岐市として風疹予防ワクチン接種に補助をすると思いますが、具体的な補助制度についてお伺いいたします。

答 被接種者は、県と同様と考えており、風疹の罹患歴がなく、風疹ワクチン接種の履歴がない方で、女性は23才以上で妊娠の予定・または希望している方、男性については、妊娠している女性の夫のうち妊婦健診で風疹の抗体が十分でないかと判断された方を対象とします。補助金は、接種費用上限1万円として、平成25年7月1日より、平成26年3月31日までを予定しております。補助対象人員を350人と想定し、350万円を既予算内で対応する予定です。

《第3回定例会一般質問》



西尾 隆久

◆選挙投票率の向上について

問 最近の選挙投票率の見解は。

答 身近な市長、市議会議員選挙は比較的高く、国政選挙になると低くなる傾向で、情報化社会のなかで結果の見えるような選挙に対して、余り関心を示さなく、行政の立場としては自分の権利を行使いただきたい。

問 年代別の投票率について

答 昨年12月の衆議院総選挙の20代38・10%、30代56・91%、40代72・20%、50代71・04%、60代80・77%、70代73・31%、80歳以上45・51%。

1月の知事選挙が20代21・82%、30代32・63%、40代39・09%、50代46・43%、60代51・29%、70代55・36%、80歳以上27・49%。

問 ポスター掲示板の数と見直しについて

答 公職選挙法により算定方法が決められており、本市は207箇所であり、周囲の状況の変化により、最近では、市長、市議選で地主の意向で2箇所、衆議院選挙、知事選で2箇所、その他に土岐津町の投票区で移動の希望があり、1箇所移動した。地元の意見を伺うなかで、変更は可能である。

問 投票所の見直しについて

答 土岐市中に28箇所の投票所があり、その内12箇所については、何らかの欠陥があると思っている。今後の検討課題である。

◆土岐市観光大使委嘱について

問 本市の観光大使は、また要請したことはあるのか。

答 本市の観光大使は無く、また現在のところ、観光大使へのアプローチはしていない。

問 観光大使により本市の知名度向上を図ってはどうか。

答 観光振興計画では、観光計画における重要な柱として、土岐市の知名度の向上及び効果的な情報発信の推進を掲げており、知ってもらい、来てもらおう観光まちづくりのために、土岐市にゆかりのある人物を観光大使に登用していくことを具体的な取り組みの中の一つとして位置づけているところであり、観光振興計画実現のため、いろんな取り組みを進めるなかで、観光大使についても、積極的に進めてまいりたい。





山田 正和

◆文化財について

問 本年2月27日の文化審議会文化財分科会におきまして、土岐市が所有する岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品が国の重要文化財に指定されました。今後展示するなどの活用方法と収蔵庫についてはどのようにお考えでしょうか。

答 出土品につきましては、今回廃止をしました文化会館で保存してございます。

この先、収蔵庫等どうするかということは、まだ計画を立てている段階でございませぬので、よろしくお願いたします。

また展示につきましては、文化会館は老朽化が進んでおり、耐震の手だてもしてございませぬ。

隣接して美濃陶磁歴史館がございますので、そちらでの展示ということにさせていただきたいと思っております。

●岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品が国の重要文化財に指定されたということとは大変喜ばしい事です。

また、美濃焼を市民や他の地域から来た人々に知っていただくかもしれないチャンスであると思っております。

土岐市の地場産業発展のためにも、期間が短い特別展というより、土岐市の観光コースとして組み込めるような常設で出土品の展示をしていただきますようお願いいたします。



◆防災について

問 先日泉町で発生した火災で感じたことですが、実際に使用距離に即していないように思われる消火栓の配置や備蓄されているホースの量についてはどのようにお考えでしょうか。

答 消火栓の距離については、消防法で規定されていますので、今のところ変えるつもりはございませぬ。しかし地形によっては、状況を見ながら設置についてかんがえていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

●平時ではなかなか実感できませんが火災が起きた場合は大変現場が混乱する事も考えられると思っております。

余裕を持った消火栓位置やホースの長さを想定した計画が今後なされる事をお願いいたします。

《第3回定例会一般質問》



北谷 峰二

◆防災について

問 今年度の防災計画、南海トラフ巨大地震の備えについて。

答 今年度の防災事業は、駄知小学校、泉中学校耐震工事。妻木橋の耐震化事業及び深沢川、ヤオタ川の改修。南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ最終報告では、備蓄食料は一般の家庭で一週間分が必要との見解が示され、市としても市民の方々へホームページ、広報紙及び本年度開催予定のDIY訓練、防災講演会など、食料及び飲料水の緊急用備蓄に対する啓蒙を強化し、市にお



いても、あくまでも自助が基本であるというスタンスに立ち防災倉庫新規設置、既設防災倉庫にガス発電機配備等資機材の充実、地域防災計画の全面改定。それに伴い避難所見直し、職員行動・避難所運営・非難時伝達マニュアルの作成など、ハード、ソフト両面で減災活動を実施。

問 山が近い地域の消火栓について。

答 山間部を走る水道管自体が50mmで、かなり細く、設置したくてもできない所が多い。

問 代案として防火水槽設置や作ることを考えないのか。

答 要望があれば、予算面もありませんが考えていきたい。



◆総合病院待ち時間の改善について

問 待ち時間緩和の為に本の設置が出来るのか。

答 経費の問題や本を置けるスペースの確保が困難であり難しい。

第3回定例会採決状況及び結果

議案名	採決結果	議案の主な内容
平成25年度土岐市一般会計補正予算(第1号)	全会一致	補正額 28,813千円
土岐市税条例の一部を改正する条例について	全会一致	地方税法等の一部改正に伴う改正
土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全会一致	国民健康保険法施行令の一部改正に伴う改正
土岐市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例について	全会一致	道路法施行令の一部改正に伴う改正
財産の取得について	全会一致	事務用パソコンの取得
財産の取得について	全会一致	中学校パソコン教室用のパソコン等の取得
土岐市功労章の授与について	全会一致	加藤半一郎さんへの授与 金津保さんへの授与
T P Pへの参加に反対する請願	不採択16人 採択 1人	
「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)が制定されるよう政府に対する意見書の採択を求める請願	不採択14人 採択 3人	

編集後記

今年の東海地方の梅雨明けは、昨年より2週間程早く市民の皆様には、この暑い毎日をどの様に過ごされ、健康管理に留意されているのでしょうか。

第3回定例会は、6月3日から6月25日までの23日間が開催され、昨年に続き6月定例会の議場中継を「おりべネットワーク」にて放送される事となりました。

今年度の表紙のテーマを編集委員会において「議会」と決めた事もあり今回は、その時の撮影状況を表紙とさせて頂きました。

市民の皆様には、文字、写真、映像などを通して、少しでも解りやすく、身近な市議会である様、頑張っていきたいと思っております。

(文責 宮地順造)

編集委員

座長 小関 祥子
副座長 宮地 順造
委員 塚本 俊一 加藤 淳一
山田 正和 鈴木 正義
北谷 峰二

9月定例会の日程

《会期8月26日～9月26日》

8月26日 本会議(議案提案説明)

9月4日 本会議

(質疑・委員会付託・一般質問)

5日 本会議(一般質問)

6日 本会議(一般質問)

9日・10日 第二常任委員会

11日・12日・13日 第一常任委員会

26日 本会議

(委員長報告・質疑・討論・採決)

あなたも傍聴してみませんか

市議会では、市民の皆さまの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市役所4階の傍聴席入り口の受付で住所・氏名・年齢を記

入するだけで、あなたでも傍聴できます。

市政のことを知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。

